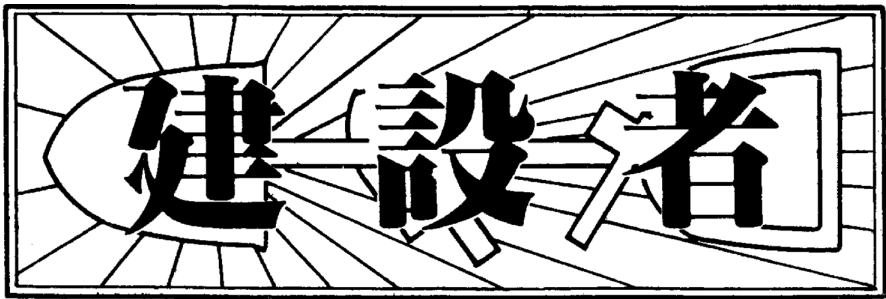


今月の葛飾組織現勢

2014年2月1日現在	4703人
加 入	19人
転 入	3人
脱 退	31人
転 出	1人
2014年3月1日現在	4693人



東京土建一般労働組合
葛 飾 支 部

〒124-0012 葛飾区立石8-34-4
電 話 (5698) 1 2 6 1
FAX (5698) 1 2 6 2
発行人 細 貝 文 洋

賃金上げる・法定福利費よこせ

若年入職に危機感

日比谷野音に2917人 賃金引き上げを求める大集会

2月6日(木) 日比谷野外音楽堂で賃金引き上げを求める大集会を開催。会場には2917人が集結。葛飾支部からは69人が参加。

会場全体で法定福利費よこせと訴える

集会では、全建総連東京都連の伊東昇委員長から「若年がない。危機感を抱いている。19歳以下の大工は全国に2150人しかいない。全建総連の役割は、現場の賃金を引き上げること、若年の入職である。若年の入職については、社会保険の完備が必要であり、それには法定福利費の獲得が必要である。」と訴えがありました。

また、集会では被災地(福島)からの報告もあり、「政

府は福島で原発で死んだ人は少ないと発表しているが、実際は1635人が原発が原因で亡くなっている。これは福島

島の災害での直接死を上回る人数。原発の再稼働も進めている現政府は、福島を無視している。

除染作業についても2万5千円の手当のほすが、高い人で1万8千円の手当。単価を下げさせない公契約条例が必要である。」と、福島の実態について訴えがありました。

集会最後には、2年連続で大幅に引き上げられた設計労務単価(2年分23%)を現場の職人までいきわたらせ、賃上げ・法定福利費確保につながるように「賃金上げろ!」「法定福利費よこせ!」と会場参加者全員がプラカードをかがけ団結しました。

集会後は、東京駅まで銀座を通り街ゆく人に訴えながらデモ行進をしました。

2014年度月額保険料

組合員			家族	
国保種類	都内	都外	国保種類	都内・都外
法人A種	31,900円 (31,500円)	34,900円 (34,500円)	成人男性	11,400円 (11,400円)
法人B種	30,100円 (29,700円)	33,100円 (32,700円)	幼児	1,800円 (1,800円)
法人C種	26,000円 (25,600円)	29,000円 (28,600円)	一般	4,200円 (4,200円)
第1種	27,000円 (26,600円)	30,000円 (29,600円)	小学生相当	3,800円 (3,800円)
第2種	21,600円 (21,200円)	24,600円 (24,200円)	中学生相当	3,800円 (3,800円)
第3種	17,500円 (17,200円)	20,500円 (20,200円)	高校生相当	3,800円 (3,800円)
第4種	14,600円 (14,500円)	17,600円 (17,500円)	※家族5人目以上は納入なし ※家族保険料の年齢については4月1日時点の満年齢となります。	
第5種	11,400円 (11,400円)	12,600円 (12,600円)		
介護保険料 (40~64歳の本人および家族)		2,400円 (2,400円)	国保入院共済金 本人のみ	300円 (200円)

介護保険においては40歳~64歳の家族に増減があった場合はその月から増減します。

2014年度国保料

平均400円の引き上げ

5種・扶養・介護は据え置き

2014年度の新年度保険料は、土建国保組合の中期財政計画に基づく収支改善のために一世帯平均305円+国保入院共済100円の合計405円(平均)の引き上げをお願いすることになりました。

年以降の保険料引き上げ幅を抑えるための措置として引き上げをすることになりました。厳しい家計状況の下、心苦しい限りですがご理解と協力をお願いします。

昨年の7月から半年にわたり、組合員や家族のみなさんのハガキ要請・集会への参加、議員要請行動などの運動をすすめてきた結果、国と都の補助金は一人あたりの単価で増額を勝ちとることができましたが、医療費・後期高齢者支援金・前期高齢者納付金等の影響に加えて、国の補助金が不安定な中で、2015

●国保料：法人A種↓2種↓400円、3種↓300円、4種↓100円の引き上げ
●国保入院共済：一律100円引き上げ
※国保料5種と家族保険料、介護保険料は据え置きです。

寅さん

3月1日は南太平洋マシーナル諸島のビキニ環礁で1954年にアメリカがおこなった水爆実験で、日本のマグロ漁船などが被災して60年にあたります。

3・1ビキニデーは、広島と長崎に原爆が投下された8月6日と9日のヒロシマ、ナガサキの日とともに、核兵器廃絶への決意をあらたにする日です。

この核実験で被ばくしたマグロ漁船・第五福竜丸の無縁長、久保山愛吉さん(当時40歳)が、「原水爆による犠牲者は、私で最後にしてほしい」とのべて亡くなったことは内外に大きな衝撃をあたえました。

太平洋で水揚げされたマグロが放射能で汚染されていたことも重なり、核兵器と核実験に対する国民の憤りと不安は一気にひろがりました。

ビキニ被災は、第五福竜丸だけでなく、近海で操業していたのべ1000隻もの漁船の乗組員に及びました。

ヒロシマ、ナガサキに続き、三たび原水爆の被害を体験した日本には、核兵器の非人道性とその全面禁止・廃絶を訴える特別の責務があります。

「いかなる状況」でも核兵器を使用すべきでないというのが被爆国としての立場ではないでしょうか。広島・長崎の被爆から70年の来年の核不拡散条約(NPT)再検討会議に向け、被爆国の運動を展開させるうえでも、ビキニデー集会の成功を。

春一番拡大 成果表

	2014年 1月1日付	2014年 3月1日付	1月比 増減	年間 目標 12%	目標	加入者	3月5日現在			
新小岩	112	113	1	14	3	0				増減○1
西新小岩	109	111	2	14	3	2	■	■		増減○2
東新小岩	291	289	-2	35	8	3	■	■	■	増減▼2
奥戸	448	446	-2	54	12	4	■	■	■	増減▼2
本田	211	207	-4	26	6	3	■	■	■	増減▼4
立石	123	121	-2	15	4	3	■	■	■	増減▼2
青戸	206	209	3	25	6	3	■	■	■	増減○3
お花茶屋	190	189	-1	23	5	☆5	■	■	■	増減▼1
堀切	270	273	3	33	7	5	■	■	■	増減○3
二葉	213	211	-2	26	6	3	■	■	■	増減▼2
西亀有①	148	145	-3	18	4	1	■			増減▼3
西亀有②	85	85	0	11	3	0				増減0
亀有	231	228	-3	28	6	1	■			増減▼3
細田	183	181	-2	22	5	0				増減▼2
高砂	203	198	-5	25	6	1	■			増減▼5
柴又	246	234	-12	30	7	0				増減▼12
新宿	139	140	1	17	4	0				増減○1
金町	135	135	0	17	4	0				増減0
東金町	130	126	-4	16	4	☆4	■	■	■	増減▼4
東水元	237	230	-7	29	6	1	■			増減▼7
北水元	206	201	-5	25	6	2	■	■		増減▼5
幸田	257	252	-5	31	7	☆7	■	■	■	増減▼5
飯塚	194	191	-3	24	5	2	■	■		増減▼3
その他	174	178	4	21	5	4	■	■	■	増減○4
合計	4741	4693	-48	569	119	54	1月18人	2月33人	3月3人	

1月1日付人員比 マイナス 48人

春一番拡大

区に対して与える影響は大きく、多くの仲間がいることで、

2月23日の日曜行動では、6分会が行動し、6人の仲間を迎え入れることができました。

みなさんの協力でこの組織は成り立っています。日ごろの意識付けで対象者発掘にご協力をお願いします。

組合員を増やそう

東金町が一番乗り、幸田・お花茶屋が続いて達成

運動前進の原動力は組織拡大

未加入の建設業の従事者に声かけしよう

1〜3月の3カ月間の組合員を増やす運動（春一番拡大）もいよいよ最終月。1月1日付人員と比べると2カ月経過して、48人の減少。葛飾支部の組織後退に歯止めがかかっていません。私たちの要求を前進させるためにも、力となる組合員数を増やしていく必要があります。土建国保補助金の獲得は皆さんの運動によって現行水準を確保することができています。これも多くの仲間がいることで、成果として現れた取り組みのひとつです。また、公契約条例についても、現在葛飾区に対して運動を進めようという準備を進めています。この取り組みも多くの仲間がいることで、区に対して与える影響は大きく、

54人の仲間が新たに加入

従事者の知り合いに声をかけ、加入に結び付けましょう。そのためには、日ごろからの皆さんの声かけが重要になってきます。

脱退防止は

第二の拡大

同時に、脱退者の防止も第2の拡大と位置付け、未納・滞納を声かけでなくすことも必要です。特に、今月末に保険証交換が行われますので、その時に4月分（3月支払分）まで納入されていないと保険証を渡せなくなります。



確定申告相談を受ける深谷書記

確定申告相談会を開催

相談会の開催は助かると組合員の声

確定申告の時期にあわせた確定申告相談会を2月19日（水）から3月12日（水）まで、支部会館3階の大会議室で開催。3月5日現在〇〇件の相談がありました。

確定申告の時期にあわせた確定申告相談会を2月19日（水）から3月12日（水）まで、支部会館3階の大会議室で開催。3月5日現在〇〇件の相談がありました。

制度の変更点

今年の確定申告から、復興特別所得税の徴収が始まりました。この税制は、平成49年

年度末は
保険証交付

新年度の保険証は、各分会で上記のそれぞれの日時・場所で行います。所属する分会で保険証を受け取ってください。交付の当日は、印鑑をご持参ください。

3月納入忘れずに

なお、3月の納入（4月分）がされていないと保険証をお渡しできませんので、今月の群会議での納入を忘れないようお願いいたします。また、4月の保険料は、若干の変更有り。納入金額にご注意ください。

12月31日までの間に生じる所得が対象で、従来の納める所得税額に所得税額の2.1%を加算するものになります。

この制度については、半分近くの方は聞いたことはあるというものの、その中身は今回の申告で知ったという方がほとんどでした。復興目的の税制であるがゆえ、適正に使われることを願います。

また、2014年から記帳義務化が始まっており、日々の記帳の周知も同時に行なっています。領収書や請求書などの保存だけではなく、その金額を帳簿に書き込むことが必要です。日々の習慣付けをしていきましょう。

3月13日（木）には、重税反対集会を浜江公園で行ったあと、葛飾税務署までデモ行進をし、集団申告をします。

分会総会始まっています

所属の分会の総会に出席して
分会・支部の取組み内容を知ろう

奥戸分会

地縁・存在意義 活かす分会作り



奥戸分会総会

【奥戸・教宣・星谷聡】奥戸の分会総会は3月1日、いつもの天祖神社で毎度の通り小人数。

しかし財政報告、予算も審議し、活動方針は「工作教室や住宅デーを通じて、地域との地縁を深め、私達の存在意義を仕事、運動、活動、拡大に活かせる分会作りを進める」ことを確認しました。

その理由として近年は動員の数も減り、仲間を集める機会も無くなり、群会議を除けば、地域工作、分会レクや住宅デーをきちんと実行していないと分会組織の弱体化に繋がらない状況を目撃するからと皆さんも納得。

役員体制はほぼ前年通りですが、阿久津さんと徳山さんが支部から戻るので副分会長（仕事・労対担当）に、次年度は70歳定年実施になるので、鈴木さんに予約を取り、笑顔で全議題を承認して、後は簡素に乾杯。

ともメディカルクリニック 2月末で契約解除に

東京土建組合健康指定医療機関「ともメディカルクリニック」(亀有駅は、都合により2月28日付で、

契約解除となりました。ご利用いただいた皆さま、ありがとうございました。

飯塚分会

今年は 200人分会



飯塚分会総会

3月1日(日)飯塚分会総会が水元学び交流館で開催されました。参加者は26人。活動報告・会計報告・新役員選出などを拍手で承認。

飯塚分会にとって、2013年は、年間拡大・期限内目標・3割訪問達成し、年間実増で素晴らしい活躍を見せた一年でした。再任された永井分会長は「今年は念願の200人分会にしたい」と挨拶しました。

そのあと懇親会に入り、豪華なお弁当と飲み物でワイワイ。今年は例年の総会より参加者が多く、レクリエーションで楽しい分会活動が実を結んできたようです。

西亀①・②分会

役員のなりて不足

どちらの分会も3月2日(日)に分会総会を開催。西亀有①分会は綾瀬の「江戸一万里来館」、西亀有②分会は亀有の「九十九」を会場とし、両分会とも20人程の仲間の参加で開催しました。

分会長のあいさつからはじまり、決算・予算の報告、新年度役員が発表。

今年は分会四役の8割を70歳未満から選出する必要があり、両分会、目ぼしい組合員に



西亀有第一分会総会



西亀有第二分会総会

声をかけてきましたが、役員の成り手が見つからない状況で、分会再編の話もあり、今後の課題が多い総会でした。

西亀有①分会では伊藤分会長が分会長定年の65歳で任期を終え、その他の役員も高齢化し、役員の成り手が見つからず、困難な状況に頭を悩ませていました。

両分会とも懇親会では1年の労をねぎらい、最後は3本締めで閉会しました。

コンクール入賞続々

古田武さん(西新小岩)
伊藤兼夫さん(幸田)
記事賞を受賞



表彰される伊藤兼夫さん

本部教宣部主催の2013年度「東京土建機関紙コンクール」(38支部対象)で、分会新聞部門・特選の東新小岩・奥戸に続き、今回、支部機関紙部門・記事賞に、古田武さん(西新小岩)・伊藤兼夫さん(幸田)の記事が、新たに入賞しました。

また、今年の新年号が対象の全国新年号機関紙誌コンクールでは、奥戸の特別賞受賞を筆頭に、ほんでん・高砂・主婦かつしかが、審査委員特別賞に入賞。佳作に5紙が入賞しました。

東京土建機関紙コンクール
《記事賞・支部機関紙部門》



佐々木経昌さん(東新小岩)

○「被災地との絆深める」

古田 武さん(西新小岩)

○「メダカの学校の校長先生」

伊藤兼夫さん(幸田)

《分会新聞部門・特選》

○東新小岩分会新聞

○奥戸分会新聞

新年号機関紙誌コンクール

《特別賞》

○奥戸分会新聞

《審査委員特別賞》3紙

○ほんでん(本田分会新聞)

○高砂分会新聞

○主婦かつしか(主婦の会)

《佳作》5紙

○西新小岩・東新小岩・菫浦

(堀切)・二葉・東水元

おめでとうございます。

キャプテン翼 銅像

四つ木・立石間に7体



キャプテン翼像

サッカーをするものであれば誰かが憧れ、あのメッシ(バルセロナ)も愛読している翼の銅像が新たに設置されたというキャプテン翼。葛飾ます。昨年の3月に四ツ木つばさ公園に設置された大空翼の銅像に続き、この3月に四ツ木から立石の間に新たに7体の銅像を

像を設置。(3月16日が除幕式)新たに増えた葛飾散策のコースを歩いてめぐってみてはいかがでしょう?

【キャラクターと設置場所】

○石崎了：四ツ木駅前ポゲックパーク

○日向小次郎：四ツ木公園

○ロベルト本郷と大空翼：めだかの小道

○中沢早苗：葛飾郵便局前

○岬太郎：浅江公園

○若林源三：立石みちひろば

○大空翼：立石一丁目児童遊園

自転車保険 7月から改定

掛金4500円に引き上げ 補償の幅が広がり、賠償は倍

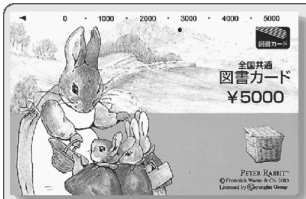
どけん共済会で取り扱っている自転車保険の制度変更があります。この制度の変更は左表の通り。料金の改定及び、補償内容の改定です。自転車保険にご加入のみならず、3月上旬(5日頃)に案内が届いています。ご確認ください。

これらの改定は7月1日の新規及び更新分からです。お問い合わせは支部事務所まで連絡をお願いします。

	旧 2014年6月まで	新 2014年7月から
年間掛金	3,000円	4,500円▲
入院保険金日額 (本人・配偶者)	3,000円	7,000円▲
入院保険金日額 (同居の親族・別居未婚の子)	1,500円	4,500円▲
通院保険金日額 (本人・配偶者)	1,500円	1,200円▼
通院保険金日額 (同居の親族・別居未婚の子)	1,000円	500円▼
死亡・後遺障害 (本人・配偶者)	800万円	300万円▼
死亡・後遺障害 (同居の親族・別居未婚の子)	500万円	200万円▼
賠償責任	5,000万円	1億円▲

自転車以外の交通事故等の補償 (新制度)

入院保険金日額 (本人・配偶者)	4,000円
入院保険金日額 (同居の親族・別居未婚の子)	3,000円
死亡・後遺障害 (本人・配偶者・同居の親族・別居未婚の子)	100万円



全額共通
図書カード
¥5000

PETER RABBIT
© 1999 by The Beatrix Potter Licensing Company

新入学お祝金

申請しましたか？

13年4月の『新入学祝金』、3月が申請の受付の最後です。忘れずに申請ください。

(申請で、5千円図書カード)
※14年4月の新入学申請は、4月以降です。



青年部レク 今年も楽しく開催

青年部で日光に 部員の絆を深めた

2月2日(日)、青年部日帰りバスレクレーションを行いました。行先は日光の東照宮と江戸村。

東照宮は朝早く着いた事もあり、参拝者も少なくゆつくり神秘的な雰囲気を感じることができました。階段が急で長かったので、子供を抱えて登る部員の顔からは笑顔が消えていました。

昼食は名物の湯葉を美味しく頂きました。午後から日光江戸村へ向かい、江戸の町並みや当時の格好をした人達に、子供だけでなく大人も大いにはしゃぐことができて、急きょ滞在時間を延長するほど楽しむことができました。

今回の参加者は18名。部員の絆を深めるイベントとなりました。

生活に無理なく続けられるなどという思いで今に至ったと話す斎藤さん。それでも『世のため、人のため』という思いで、「親切な人の一人になりたい。困っている人がいたら、すぐ行動できるように、いつも考え、そしてとっさの

「16年前、立石中学校のPTA会長になって、青少年育成立石地区委員会に所属しました。現在は副会長として5年目になります。続けてきたら表彰をされてました。」と斎藤太一郎さん(立石・塗装・61歳)。

斎藤さんは平成25年度葛飾区自治功労者として、区長から表彰されました。

親から家業を受け継ぎ、2代目として活躍する一方で、地域・子供のために同地区委員会に所属し活動を続けています。



斎藤太一郎さん

親切な人の一人でいたい

斎藤太一郎さん(立石)
青少年育成地区委員会・副会長

地区委員会・消防団 地域に貢献で表彰

平成25年度
葛飾区自治功労者表彰



平野義明さん

安心・安全のために

平野義明さん(お花茶屋)
消防団・副分団長

判断が出来るように心がけています。」と。

同地区委員会では様々な取り組みがあり、その中でも11月3日の立石中学校で開催のロードレース・ファミリイ大運動会は年間行事の中のメインイベントです。子どもたちの真剣な姿を見るたびに、やっけて良かったと感じるそうです。

今回の表彰を受け、「これから

「受けたからには安心・安全のために動く。」と力強く語る平野義明さん(お花茶屋・63歳)。平成25年度の葛飾区自治功労者(消防団員)として表彰されました。

平野さんは、本消防署管轄の消防団の14分団に所属して20年。(地域はお花茶屋【1・3】・東堀切【1・3】・西亀有【1・2】・堀切【8】)現在、副分団長として地域の安全を守るために、災害時の出動はもちろん、有事に備えての訓練、学校・町会等での講習会の開催など昼夜を問わず尽力されています。

大変なことは「とにかく時間を取られること。仕事をや

からも地域や子どもたちのために、自分のできることは頑張

仲間の作品コンクール今年も受賞多数

貫禄・連続・初受賞

篠田綾子さん・岸田俊男さん・私市幸子さん



3席受賞 岸田俊男さん撮影

今年も本部主催の仲間の作品コンクールで葛飾支部から応募の作品が多数入賞しました。

た。

写真部門では今年も岸田俊男さんが3席で入賞したのを筆頭に、私市幸子さんが佳作に入賞。そして文芸部門では篠田綾子さんが銀賞に輝きました。



佳作受賞 私市幸子さん撮影

受賞おめでとうございます。

○写真部門【スナップの部】
3席「盛夏」
岸田俊男さん(東金町)

○写真部門【風景の部】
佳作「都会のレトロ」
私市幸子さん(二葉)

○文芸部門
【短歌の部】銀賞
篠田綾子さん(北水元)

短歌の部賞

篠田綾子さん

トタン板

たたき折り曲げ 工事せし
夫の右手は 老いてまがりぬ

っていきたい。」とお話する斎藤さん。そう語る目は優しさに満ちていました。

りながらやるのが大変。緊急時には夜中でも連絡がきます。今年に入って2カ月弱。すでに同地域で3回も出動がありました。」と。

自治功労者として表彰されたことについては「特にありません。」とキッパリ。「表彰される前も今もやらなければいけないと思う気持ちは変わらないです。常に意識を高く持つようにしています。」と、責任感とその誇りを感じたお話をした。

地域を守る消防団員として、その責任感とともに取り組んできた実績が今回の表彰につながっています。